



2025 安全報告書

(2024年8月1日～2025年7月31日)

めいほう高原開発株式会社

めいほう第1クワッドリフト

めいほう第2クワッドリフト

めいほう第3クワッドリフト

めいほう第4クワッドリフト

めいほう第2ペアリフト

利用者の皆様へ

平素はめいほうスキー場をご利用いただき誠に有難うございます。また索道事業に対するご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では、安全・安心を最優先に、従業員が高い安全意識を持ち、お客様の輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全実態について公表し、自ら振り返るとともに、皆様に広くご理解いただくために作成しました。

今後も輸送の安全確保のために従業員一丸となって全力で取組んでまいります。

めいほう高原開発株式会社 代表取締役社長 板倉秀典

1. 基本方針・安全管理体制

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員等に周知・徹底しております。

① 関係法令の遵守

輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し厳正、忠実に職務を遂行すること。

② 安全最優先の原則

- (ア) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (イ) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (ウ) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (エ) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (オ) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。

③ 安全管理体制の継続的改善の実施

常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標（安全重点施策）

目標 1 : 人身障害事故発生 0 件

目標 2 : 索道保安設備から起因する事故 0 件

目標 3 : 索道スタッフの不安全行動から起因する事故 0 件

(3) 計画目標

死傷事故 0 (ゼロ) を目標に、安全の維持・向上のため、年度別の保守及び改修計画をたて実施しております。また、安全教育・訓練の実施はもとより、ヒヤリ・ハット収集と共有化、各種講習会等への積極的な参加など、従業員の安全に対してのレベルアップを図ります。

2. 輸送の安全確保のための取組みと今後の計画

(1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のための各種講習会等に積極的に参加し、人材の育成を行っています。

令和6年 9月 美濃地区索道協会主催技術講習会	10名参加
令和6年10月 索道技術管理者研修会	2名参加
令和6年11月 従業員研修会	
除雪機安全講習・スノーモービル講習実施	
各種資格取得研修受講	

(2) グループ会社での取り組み

日本スキー場開発㈱グループ会社合同で定期的にミーティングを行い、索道における事故・トラブルヒヤリ・ハットについて、他事業者を含む事例の分析や対策、技術情報の共有を行ない、安全性の更なる向上に努めております。また、グループ全体での技術の向上、毎月各社安全対策についての報告会を行っております。

(3) 緊急時対応訓練

当社では、緊急時を想定した救助訓練、避難訓練、消火器の取扱い訓練や、索道安全教育、郡上消防署から講師を招き救急講習などを、シーズン営業開始前及び営業期間中に実施しています。



講習及び訓練の実施日は以下のとおりです。

令和6年11月30日 リフト救助訓練

(4) 安全のための投資・維持管理

今年度は主に以下の整備を実施致しました。

■ めいほう第1クワッドリフト

握索機全数1年点検
押送Vベルト40本交換及びローテーション
油圧制動装置・油圧緊張ユニットオイル交換
索輪ゴムライナー、ベアリング一部交換
原動機オーバーホール
減速機オーバーホール
風速計点検
搬器サスペンダーブッシュ一部交換
山頂滑車軸分解整備・滑車ゴムライナー交換

■ めいほう第2クワッドリフト

握索機全数1年点検
押送Vベルト40本交換及びローテーション
油圧制動装置作動油交換
風速計点検
索輪ゴムライナー、ベアリング一部交換
山頂ギヤボックスオーバーホール

■ めいほう第3クワッドリフト

握索機3年分解整備
押送Vベルト80本交換及びローテーション
押送タイヤ44本交換及びローテーション
風速計点検
油圧制動装置・油圧緊張ユニットオイル交換
減速機ギアオイル交換
索輪ゴムライナー、ベアリング一部交換
搬器サスペンダーブッシュ一部交換

■ めいほう第4クワッドリフト

握索機6年分解整備
押送Vベルト80本交換及びローテーション
押送タイヤ44本交換及びローテーション
風速計検査
油圧制動装置作動油交換
索輪ゴムライナー、ベアリング一部交換
上線路監視カメラ更新

■ めいほう第2ペアリフト

握索機 3年分解整備
索輪ゴムライナー、ベアリング一部交換
原動滑車ゴムライナー交換
風速計点検
減速機・油圧制動装置作動油交換



3. 事故等の発生状況と再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身事故）

索道人身事故はありませんでした。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

災害による運行停止はありません。

(3) インシデント（事故の兆候）

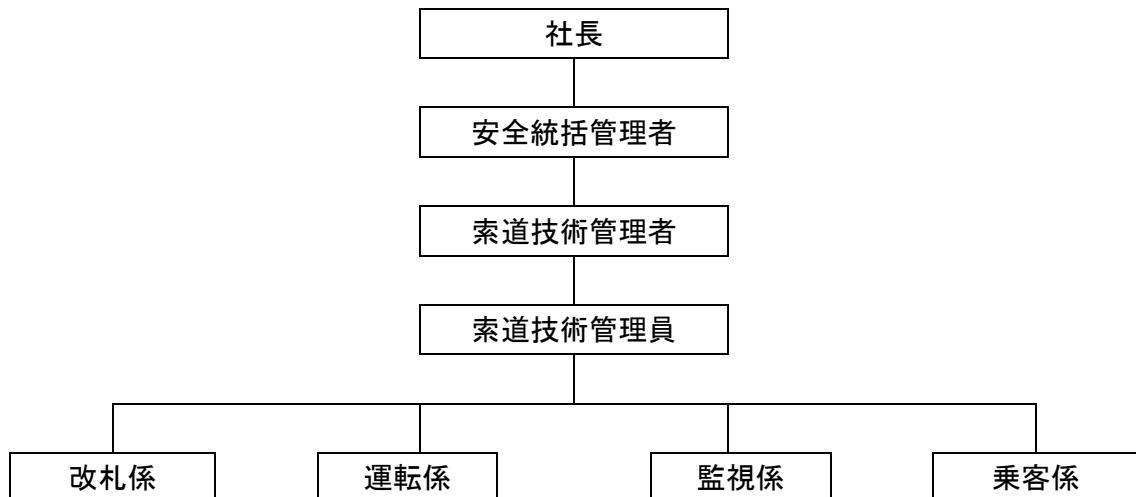
インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

監督官庁からの行政指導等はありませんでした。

4. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上及び教育訓練等の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員 (索道主任)	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

5. 利用者の皆様にお願い

(1) リフト乗車時の注意事項とお願い

- ① 乗り方に慣れないお客様は、係員にそのことを申し出て下さい。
- ② 空き缶・吸い殻・その他の物品を、乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
- ③ 搬器から飛び降り、または、搬器を揺らさないで下さい。
- ④ ストック等で、索道施設にさわらないで下さい。
- ⑤ 衣服・携帯品・髪の毛などが、施設にまきつかないように注意して下さい。
- ⑥ 改札後は係員の指示に従って下さい。
- ⑦ 携帯電話等所持品を落とされた場合すぐに回収することが困難なので、落とさないようご注意ください。(落とされた時は届け出を提出していただき、後日回収できたときに連絡します。)

(2) ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー・スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、また自然災害に巻き込まれないよう十分注意して滑走して下さい。

当スキー場では、事故を無くすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何よりもまずスキーヤー・スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないで下さい。

- ① 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意願います。
- ② 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
- ③ アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
- ④ 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
- ⑤ リフト施設、建物、雪上車輌など人工の障害物に注意願います。
- ⑥ 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
- ⑦ お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
- ⑧ スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従って下さい。
- ⑨ 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
- ⑩ 当スキー場では、この告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
- ⑪ 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

6. 連絡先

めいほう高原開発株式会社は、お客様の期待に応えられるよう、お客様の立場にたったサービスの提供に努めています。皆様からお寄せいただいた声は真摯に受け止め、より信頼される索道をつくるために役立てます。安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見・ご感想を頂戴できれば幸いです。



〒501-4304

岐阜県郡上市明宝奥住字水沢上 3447 番地の 1

めいほう高原開発株式会社

索道お客様係

TEL 0575-87-2830 FAX 0575-87-2327

E-mail info@meihoski.co.jp